

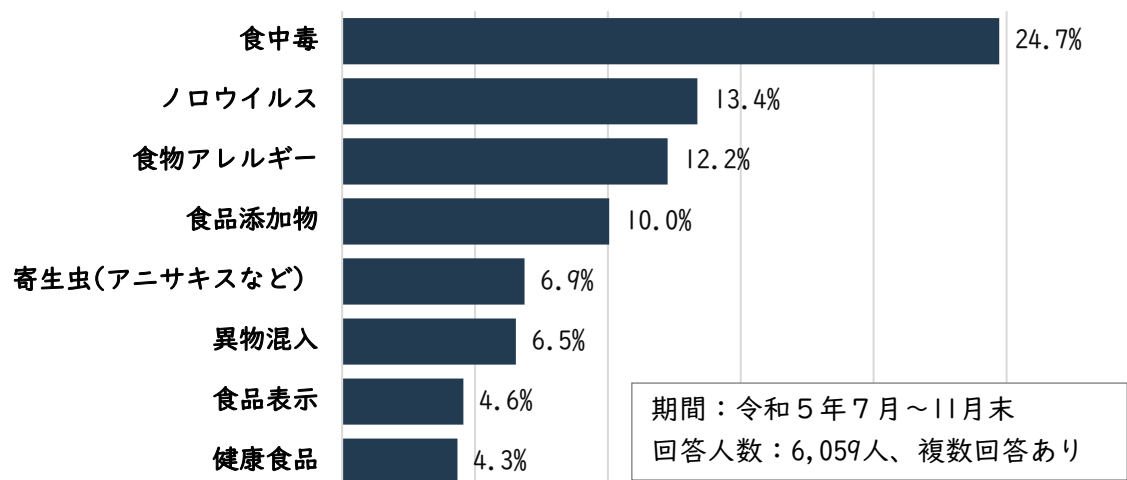
IV 消費者、食品等事業者及び行政による情報提供・意見交換（リスクコミュニケーション）の推進

消費者、食品等事業者及び行政が、施策や食品の安全性確保に関する情報及び意見交換（リスクコミュニケーション）などを行い、関係者間の相互理解を深めています。

1 消費者ニーズの把握

「食の安全に関するアンケート調査」を実施し、いただいた回答を令和6年度監視指導計画策定の基礎資料としました。

【食の安全に関するアンケート：食の安全について関心のある項目（上位8項目）】



2 消費者、食品等事業者との意見交換（リスクコミュニケーション）

(1) シンポジウムなどの意見交換会の実施

食の安全について、行政・消費者・事業者の相互の意見や情報の交換を目的に「食の安全を考えるシンポジウム」を開催しました。「食の安全を考えるシンポジウム」は、横浜市公式YouTubeでも配信しています。また、各区福祉保健センターにおいて意見交換会を実施しています。

参照

▶ [リスクコミュニケーション事業](#)
(横浜市ウェブページ)



【リスクコミュニケーション事業】

開催日	実施内容など
令和5年11月25日	食の安全を考えるシンポジウム「青果物の食の安全・安心について」

(2) 食の安全・安心推進横浜会議

監視指導計画やリスクコミュニケーションなどの食の安全に関する施策の審議や意見交換を行っていただき、その結果を施策に反映しました。

参照

▶ [「食の安全・安心推進横浜会議」議事録](#)
(横浜市ウェブページ)



【委員】（令和6年3月時点）

学識経験者 (会長)	田崎 達明	学識経験者	向井 友花	食生活等 改善推進員	齊藤 悦子
市民（公募）	新木 章子	消費者団体	清水 百合子	食品関係団体	横田 佳典
	林 美代子		松崎 嘉子		仲辻 亮作
			小島 節子		鍵田 肇
			今井 里香		

3 消費者、食品等事業者への情報提供

(1) 食品衛生に関する知識の普及啓発

消費者や食品等事業者を対象とした食品衛生講習会を開催しました。

また、（一社）横浜市食品衛生協会と共催で食中毒予防キャンペーンを開催し、市内各地での食中毒予防啓発イベントや食品衛生協会会員店舗の協力による啓発グッズの配布、デジタルサイネージでの啓発動画の掲載などを通じて、消費者への啓発を行いました。

【普及啓発事業】

主な事業	実施事業所	実施時期	実施状況 (実施回数等)
講習会 (消費者、食品等事業者)	福祉保健センターなど	通年	全区・全事業所 (388回 24,173人)
食中毒予防キャンペーン	福祉保健センター (共催：(一社)横浜市食品衛生協会)	7月～11月 (8月1日の「市民食品衛生の日」を中心に)	イベント(17区31回) 食品衛生協会会員店舗 (171店舗)

(2) ウェブページ・パンフレットなどによる情報提供

横浜市ウェブページ「食の安全ヨコハマWEB」や「広報よこはま」への掲載、チラシやパンフレットの配布、デジタルサイネージ広告やYouTubeでの動画広告掲載などを通じて、食品の安全確保に関する情報提供を行いました。

参照

▶ [食中毒予防のための啓発動画・チラシ・パンフレット](#)
(横浜市ウェブページ)



(3) 食品衛生監視指導計画及び実施結果の公表

監視指導計画及び実施結果は、市役所・区役所庁舎などで配布しています。また、横浜市ウェブページで公表しています。

参照

▶ [食の安全を守るための計画及び実施結果](#)
(横浜市ウェブページ)



(4) 報道機関への発表

食品衛生上の危害防止及び啓発の観点から報道機関への発表を行いました。

【報道機関への発表状況】

内容	件数
食中毒の発生について	8件